



ビニールハウスで大切に育成管理するマリゴールド



企業から受託した養生ゴムシートの洗浄作業

ふくしing
いわての福祉を
耕す

社会福祉法人 いきいき牧場
障害者就労支援事業所

のびやか丸

盛岡市川目6-93-4

**企業、商店街、行政などと
協力体制を整え
社会参画の機会を増やす**

市国体推進局から花苗の育成
管理を受託

希望郷いわて国体（本大会）開幕まで1年余り。盛岡市の障がい者就労支援事業所のびやか丸では、昨年9月に盛岡市国体推進局から、国体を象徴する花「マリゴールド」など約1万鉢の育成管理を受託。こ

れまで5棟のビニールハウスで大切に育成管理してきました。育てられた



牧場での作業



岩根多喜男
専務理事・施設長

花苗（マリゴールドとペゴニア）は、6月下旬に市内38か所の町内会、自治会に合計2,364鉢が届けられました。また、10月には花苗（パンジーとビオラ）1,759鉢が、市内29か所の保育園や学校などに届けられます。栽培された花苗は市内の児童公園や町内会の緑化事業にも活用され、産直などでも販売しています。



吉田浩二
主任職業指導員

出して、雇用の場を増やしていきたい」と話しています。「のびやか丸」では市公園みどり課から上の橋町のカキツバタ園の管理作業を委託し、また、昨年暮れには市林政課とハートフルワークから、街中を飾る直径2m〜50cmまでのクリスマスマストリース約70個の制作を受託。市民の目を楽

キーワードはスローライフと自然との共生

平成5年に開設された「いきいき牧場」（白澤國雄理事長）は、スローライフと自然との共生をキーワードに、「共に」「同じ物差し」「暖かい心」の3つを運営の根幹としています。



収穫したタマネギ

広さ約5,000坪の牧場敷地内に建つ精神障がい者を主とした就労支援事業所のびやか丸（※就労移行支援事業と就労継続支援事業B型の通

所施設）には、毎日、約30名の利用者が市内4か所のグループホームなどから通ってきます。主な仕事は花苗、有機低農薬野菜、リンゴジュースなどの生産・加工・販売です。企業からの委託で、養生ゴムシート洗浄作業や産業廃棄物中間仕分けなども行っています。収穫したジャガイモやタマネギなどの野菜は、近くの産直「てんぐの里106」のほか、市内中心部の紺屋町商店街に構えたサテライトショップ「ぶち丸」でも販売しています。吉田浩二主任職業指導員は「緑化事業の仕事などいわて国体を盛り上げようと利用者も張り切っています。市国体推進局からの花苗の注文があった際に、天候不順など万一のことも考慮して多めに育成しました。就労訓練となる仕事も、利用者の生きがいと自信を高め、それが地域貢献にもつながればと思っています」と話しています。平成25年に市中心部に開設した相談支援事業所「きく丸」には、職員3名が配置されています。障がいを持つ方の希望を聞きながら「サービスマニュアル」を作成し、障がい者が地域で暮らしていくための支援や相談に手厚く応じています。